

【情報公開文書】

他施設の観察研究への既存資料・情報の提供についてのお知らせ

2006 年 1 月 1 日～2022 年 4 月 30 日までの期間に骨盤部 MRI 画像を撮像され、完全型アンドロゲン不応症もしくは Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser 症候群と診断された方

1. 研究の名称

完全型アンドロゲン不応症の MRI の特徴的所見に関する検討

2. 研究の目的

完全型アンドロゲン不応症は、正常男性型の染色体（46, XY）を持ちながら、アンドロゲン受容体がうまく働かない為に男性化が障害され、女性型の外見となります。外性器は正常女性型ですが、ミューラー管に由来する膣や子宮といった構造は形成が障害され、痕跡的となります。また、停留精巣と、精巣の近くに傍精巣嚢胞と呼ばれる構造を高頻度に見ることが知られており、これが卵巣と間違えられることがあります。特に正常女性型の染色体（46, XX）を有し、同じくミューラー管由来の膣や子宮が低形成となる Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser 症候群との鑑別が問題となります。

本研究の目的は、完全型アンドロゲン不応症と診断された方と Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser 症候群と診断された方の MRI 所見を比較・検討することにより、両疾患の MRI 画像からの鑑別に有用な所見を明らかにすることです。

3. 研究実施期間

研究期間は 2023 年 4 月 25 日～2024 年 3 月 31 日までを予定しています。

4. 倫理審査

本研究は、自治医科大学附属病院臨床研究倫理審査委員会の審査、及び研究機関の長（病院長 川合 謙介氏）の許可を受けて実施しております。

5. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

とちぎ子ども医療センター小児画像診断部 教授 松木 充

6. 研究対象者として選定された理由

完全型アンドロゲン不応症と Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser 症候群との MRI

所見の比較を行うため、選定いたしました。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

完全型アンドロゲン不応症と Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser 症候群との MRI 所見の比較を行います。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

- 研究対象者背景：性別、年齢、受診の契機となった主訴
- 臨床検査：内分泌検査（LH, FSH, テストステロン, エストラジオール）
- 骨盤部 MRI 画像

9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名

自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部

松木 充

東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座

仲谷 元

岐阜大学医学部放射線科

金子 揚

日本大学医学部附属板橋病院放射線科

首藤 直大

京都大学医学部附属病院放射線部

樋本 祐紀

10. 患者さんの情報の利用又は他の研究機関への提供の停止について

下記の 12 の連絡先にご連絡をいただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。

11. 本研究に関する資料の入手・閲覧およびその方法

患者さんの個人データについては匿名化済みです。他の患者さんの個人データ

を取得することはできません。研究や個人情報保護に支障がない範囲で、本研究に関する研究の資料の入手・閲覧ができますので、下記の 12 に示す連絡先にお問い合わせください。ただし、研究や個人情報保護に支障があると判断された場合は、資料の入手・閲覧ができないことがあります。

12. 本研究への質問などのお問い合わせ先

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）
（電話 075-751-3760：樋本 祐紀）

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
（電話 075-751-4748、E-mail ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp）